

平成 18 年 11 月 29 日

各 位

会 社 名 シンワオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐 藤 勝 弘
(コード番号 2654 大証第二部)
問合せ先 取締役経営企画室室長 松浦 公司
(TEL. 06-6683-3101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 8 月 21 日の業績修正発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1 連結業績予想の修正

(1) 中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：百万円，％)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,615	△123	△124
今 回 修 正 予 想 (B)	9,804	△464	△470
増 減 額 (B－A)	△1,811	△341	△346
増 減 率 (％)	△15.6％	—	—
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 9 月中間期）	9,693	△212	△512

(2) 通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，％)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	29,823	185	182
今 回 修 正 予 想 (B)	26,947	△308	△320
増 減 額 (B－A)	△2,876	△493	△502
増 減 率 (％)	△9.6％	△266.5％	△275.8％
(ご参考) 前期実績（平成 18 年 3 月期）	16,903	△318	△636

2 個別業績予想の修正

(1) 中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円，％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	10,882	△97	△98
今 回 修 正 予 想 (B)	9,797	△460	△648
増 減 額 (B－A)	△1,085	△363	△550
増 減 率 (％)	△10.0％	—	—
(ご参考) 前期実績（平成 17 年 9 月中間期）	9,675	△210	△498

(2) 通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円，％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	26,940	217	214
今 回 修 正 予 想 (B)	24,710	△240	△434
増 減 額 (B－A)	△2,230	△457	△648
増 減 率 (％)	△8.3％	△210.6％	△302.8％
(ご参考) 前期実績（平成 18 年 3 月期）	16,879	△311	△618

3 修正の理由

(1) 連結業績

中間期におきましては、8月8日にグランドオープン予定でありました「堂島ホテル」の改装工事の遅れによる機会損失が発生し、売上、営業利益の減少が見込まれる為、前回の発表値を大きく下回ることが予想されます。

また、通期におきましては、卸売事業は、食肉市況の高止まりが続き収益を圧迫しており、依然として厳しい状況が続いております。また、フードサービス・ホテル事業におきましては、主力業態である「地鶏ごちそう処 とりひめ」をはじめ、全般的に昨年同期の売上げを上回っており、堅調に推移しているものの、洋食を中心とした新規業態におけるブランドの構築と収益改善に遅れがみられました。そのほか、原油高騰などによる消耗品、配送コストの上昇、恒常的な人員不足によるパート人件費の増加、募集にかかる採用費の増加が主な修正の要因であります。

以上により、通期における連結の売上高は、26,947 百万円、経常利益においては、△308 百万円、当期純利益においては、△320 百万円となり、業績予想数値を修正しております。

(2) 個別業績

主に連結業績予想と同一の要因によるもの。

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上